

セットアップ手順

以下の2種類のアップデートの適用が必要になります。

アップデート名	対象OS
I.クライアントシステム アップデート	Windows 7、8、8.1、10、11
II.サーバーシステム アップデート	Windows 7、8、8.1、10、11

1.スタンドアロン環境（データ、マスタも同じP C）

I、IIのアップデートを実行します。

2.クライアントサーバー環境（データ、マスタが異なるP C）

①クライアント環境でのセットアップ

Iのアップデートを実行します。

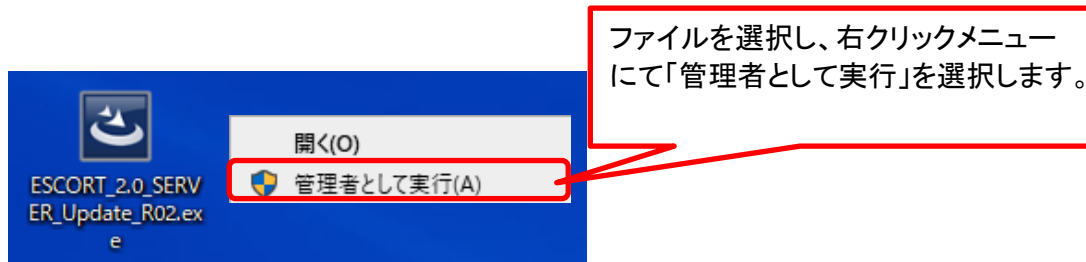
②サーバー環境でのセットアップ

IIのアップデートを実行します。

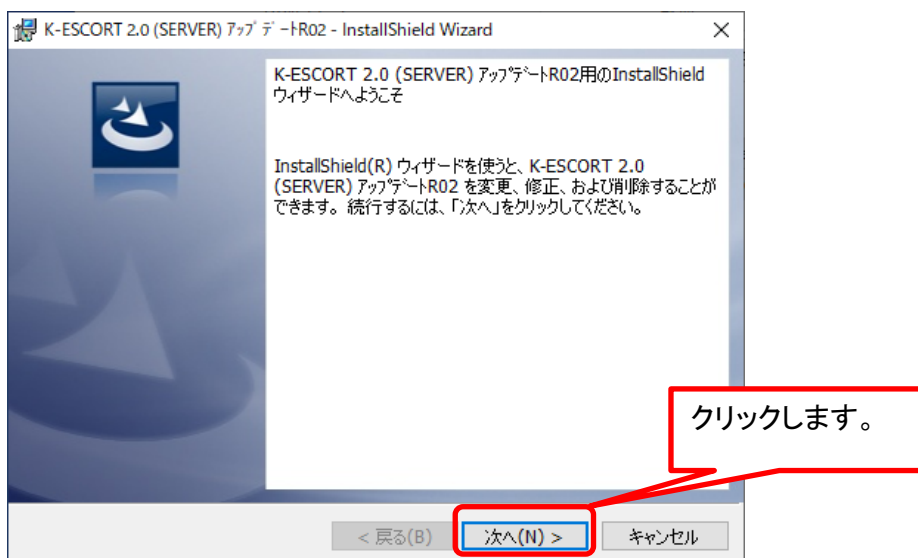
サーバーシステム アップデート

管理者権限のあるユーザーにてインストールしてください。

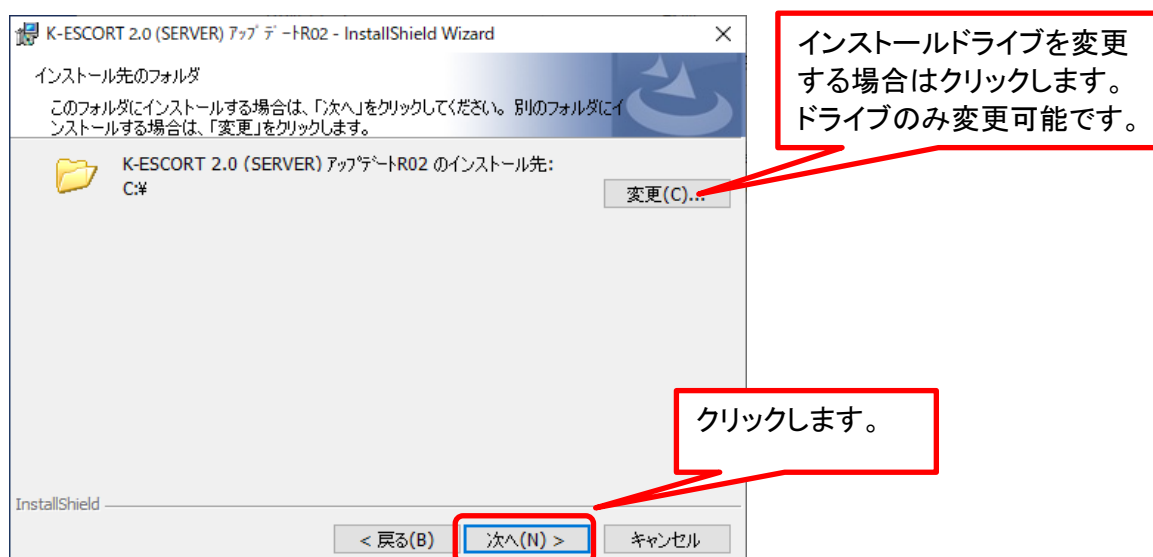
1. ダウンロードした「ESCORT_2.0_SERVER_Update_R09.exe」を「管理者として実行」します。



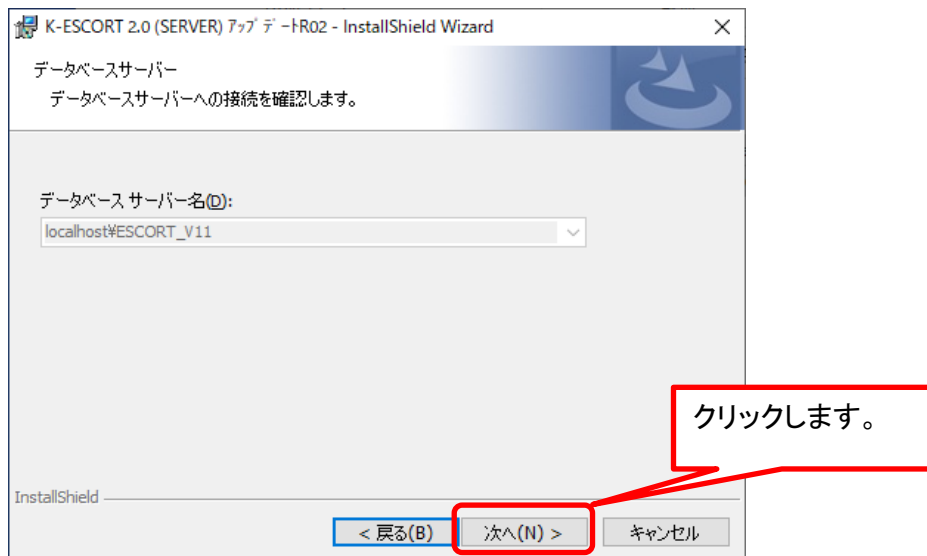
2. アップデート画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



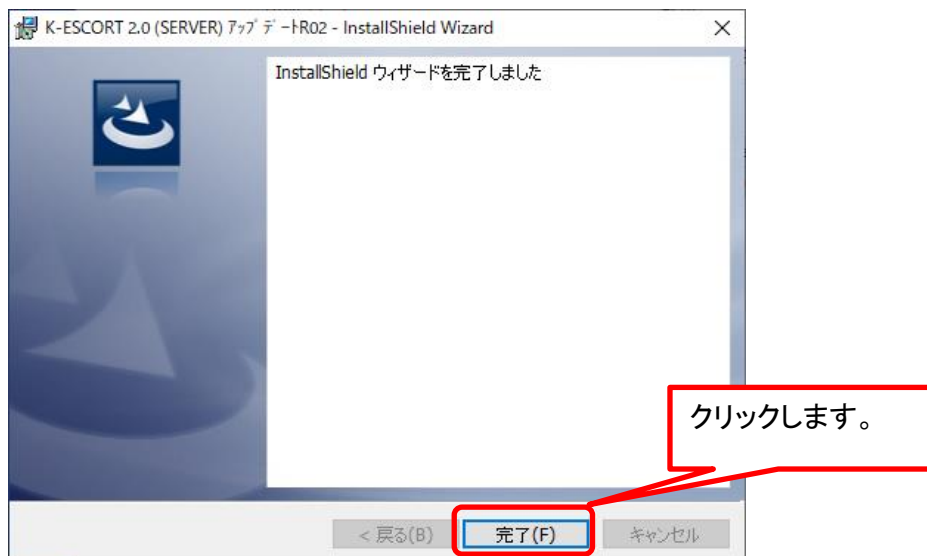
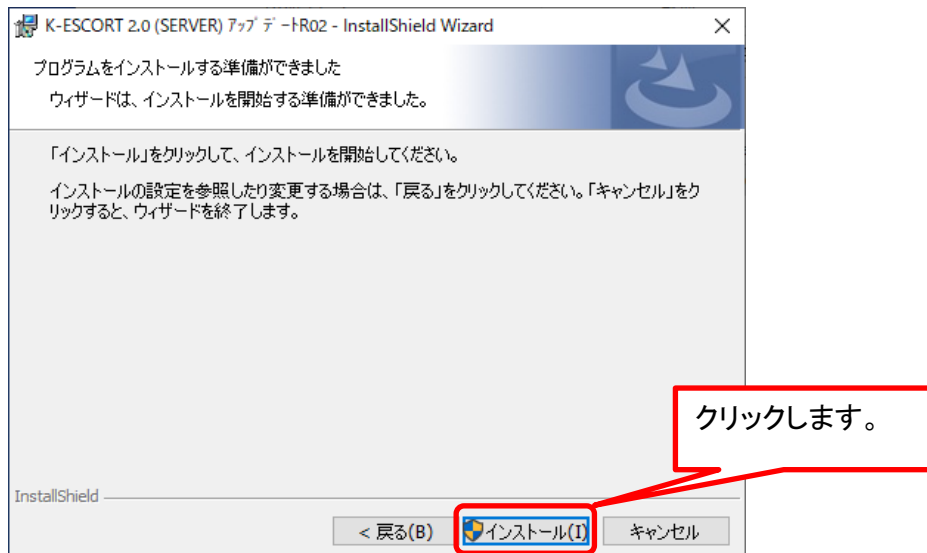
3. インストール先のフォルダ画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



4. データベースサーバーの画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



5. 「インストール」をクリックします。



以上で終了です。

K-ESCORT 2.0 ソフトウェア修正情報

NO.	項目	内容					
			2.0.0.1	2.0.0.2	2.0.0.3	2.0.0.9	
1	見積書入力画面	マスタに登録されていない用途・施工の組み合わせを選択した場合に、標準の歩掛を使用するように修正しました。	○				
2	シミュレーション	EXCEL出力時にシミュレーション画面で選択した列項目で出力するように修正しました。	○				
3	分析表	『分析比較表へ』で出てくる画面に表示される掛率が金額/定価で算出されるべきところ、定価/金額で表示されていたのを修正しました。	○				
4	EXCEL加工	EXCEL加工の①列指定すると、数字のみの規格セルの内容が消えてしまうのを修正しました。	○				
5	Ci-netファイル取込	一部のエラーになるCi-netファイルに対応しました。	○				
6	見積書入力画面	物件を開いて、部材選択画面を1度も開いていない状態で、部材上書きの1～5のボタンを押すとエラーになるのを修正しました。	○	○			
7	見積書入力画面	用途列の設定について、コピー&ペーストすると上手く認識されない。メモ帳やExcelなどからコピー&ペーストでも正しく認識するように修正しました。	○	○	○		
8	見積書入力画面	部材マスタを開いた状態で『見積から隠す』を行うと、隠すことはできるが上書きされてしまう。上書きされないように修正しました。	○	○	○		
9	見積書入力画面	一式物自動作成後、シミュレーション画面で掛率・単価を設定したあとに明細に項目を追加すると労務単価が変更できなくなる。シミュレーション後に部材追加した際はその労務単価に併せるよう修正しました。	○	○	○		
10	見積書入力画面	完全上書きで上書きしても提出の規格が上書きされないのを修正しました。	○	○	○		
11	見積書入力画面	外部取込欄は端数調整を行わないように修正しました。	○	○	○		
12	パラメーター	パラメータをExcelで出力した場合、小数点以下は出力しないように修正しました。	○	○	○		
13	パラメーター	物件概要分析マスタにおいて単位を㎡で登録すると、集計条件を手動にしても延床面積が自動引当されてしまうのを修正しました。	○	○	○		
14	見積書取込	階層コード形式で、内訳金額が0かつ数量単位が空だった場合、一式をセットするように修正しました。	○	○	○		
15	シミュレーション	元をNET・先を提出の状態では諸経費を変更した後に元を外部取込・先をNETに戻すと、NETの諸経費が提出で設定した%になってしまう。提出側も諸経費根拠を保持するように修正しました。	○	○	○		
16	シミュレーション	明細データを1物件単独で開いている状態と、2物件同時に開いている状態で諸経費の率が変わってしまうのを修正しました。	○	○	○		

※ 上記○印がお使いの製品バージョンによって発生する現象になります。

製品バージョンは、プロジェクト・物件一覧画面のオプションより確認することができます。



インストール後は、2.0.0.9になります。